



条幅規定

師範正 鳥飼 真理

曹全碑風のような崇高さを感じさせる味わいで流麗さを表現している。確かな構築性でバランスも良く、線も安定し素直である。隷書はもう少し扁平のほうがよいかもしれない。

条幅随意(臨書)

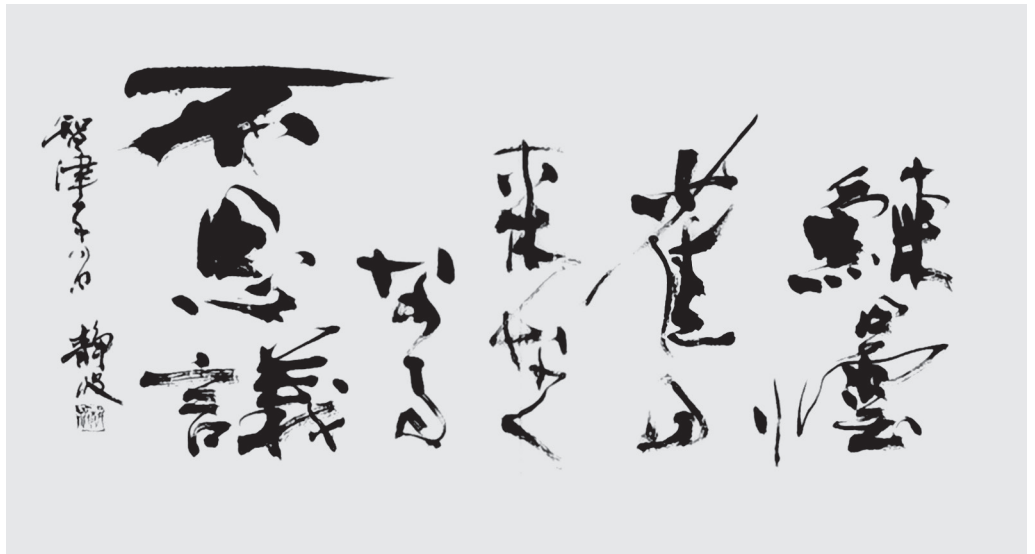
成家 木下 美鳳

日頃の作品は、やや墨が濃く、粗さが気になるが、今回はゆったりとした筆捌きと墨の調和で、線が紙にくい込み、深みある落ち着いた線が作品に存在感を与えている。この墨の調子を忘れずに。

条幅随意

成家 幸 彩華

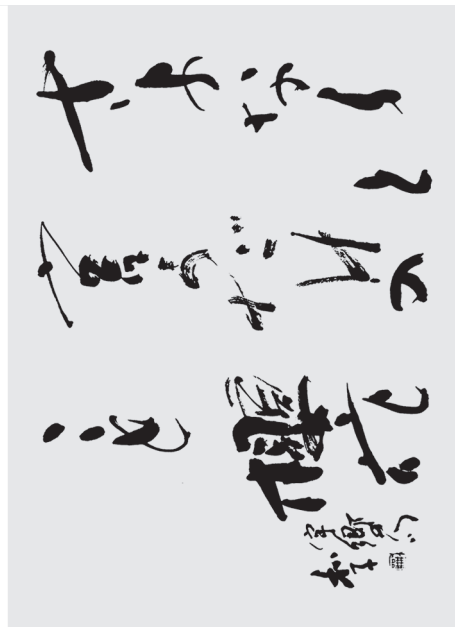
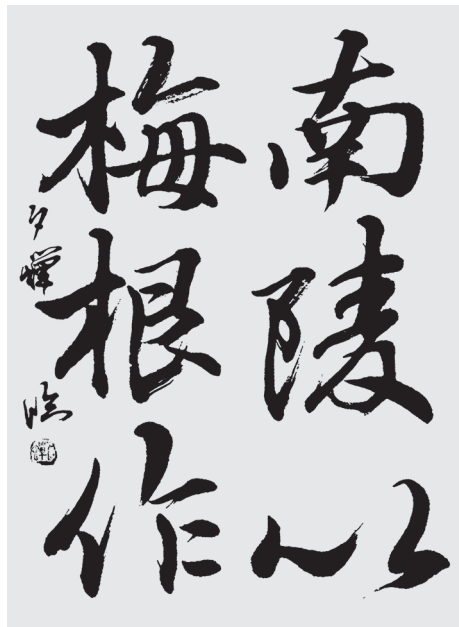
十数年前に大きな事故に遭われましたが、今では展覧会にも出品出来るまでに復帰されたこと、成堂先生も喜んでいてほしい。体の不自由にも負けず、書を生きる糧に。辛ワールドは健在です。



半折 ½横

師範正 野中 静波

抑揚の効いたリズムミカルな線に水平動を加味し、隷書風の大小の字形が安定感と存在感を醸し出し、今月は成功している。詩文書は詩情によって異なった表現方法が必要となる。古典から表現の習得も。



半紙規定

準五段 奥村 直美

さらりと書いたような、安定した筆捌きと構築性豊かな正確な線で、自然な流れの中で、バランスのとれた作品に腕の確かさをみる。今に安住することなく「日新」で。

半紙随意

成家 足立 和子

足立ワールド特有のリズムに乗った線は、生命感に溢れ、濁りなく品格が漂っている。手慣れた筆捌きと正統派の拘りと自信、書くことの楽しさも感じる。現代性豊かなセンスあり。

半紙随意(臨書)

成家 安仲 夕蟬

法帖をよく観察し、骨力のある若く深い線で、形よく臨書された力作。文房四宝など作品づくりへの拘りも感じられ、流石成家の作品です。よい作品は心の充実から生まれる。

快晴
舟森 淑乃

原
竹本 結衣

らく
ひなた

いろは歌
美香

はいろ歌
遙

成長
五年 久保 桜子

土
千晶

いろは歌
子

開花
二年 吉富 大駈己

成長
小五 中村 沙也加

原
河野有紀也

く
一ねんこいしゆづき

学生部条幅 (1/4)

中一 準特待生 野津美香子

漢字と平仮名、バランス・字形ともに素晴らしい作品です。勉強や部活との両立は大変だと思いますが、特待生を目指して、これからも頑張ってください。

小石 雄月

小一 7級
げんきのよい、くつがかけましたね。なまえまですべてもじょうずにかけていて、りっぱです。これからもがんばってね。

佐藤ひなた
小二 5級

思い切りのよいふでづかいで、半紙いっぱい元氣よく、力強く書かれています。名前もすばらしい。これからも期待しています。

梶原 千晶
小三 8級

どつしりとした土が、バランスよく、とてもじょうずに書かれています。上位の人にも負けない力をもっています。期待大。

河野有紀也
小四 初段

むずかしい課題でしたが、お手本をよく見て、形よく書かれています。今後は、名前の練習にも力を入れるのも更によくになります。

竹本 結衣
小四 準6級

お手本の細かな所までよく見て、バランスよく、上手に書かれています。上位の有段者に負けない力を持っています。

久保 桜子
小五 四段

澄んだ線で、伸びやかにバランスよく、とても上手に書かれています。更に名前も素晴らしい。今後が楽しみです。

中村沙也加
小五 準三段

お手本の細部まで良く見て、名前までとても上手に書かれています。上位の有段者に負けない力の持ち主です。期待しています。

舟森 淑乃
小六 六段

基本の筆使いがしっかりとして出来た作品です。伸びやかな線で、バランス良く書かれています。さらに上段位を目指し頑張ってください。

渡部 遥
中一 六段

明るく伸びやかな線に魅力を感じた作品です。さすが上位有段者ですね。今後は腕全体で書くのと更に良くなると思います。

吉富大駈己
中二三 準特待生

大胆な筆使いと思い切りのよい線で、堂々と書かれています。名前もよく練習が出来ています。特待生を目指して頑張ってください。

硬筆部最優秀作品

(4月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

段級
氏名
あかるい あさこひ
だ あいうえお
うたごえ うさこ
さ あいうえお
やまだちすず

段級
氏名
クローバーが青々と広がり、
わた毛と黄色の花の交ざ
ったたんぽぽが点々のも
ようになつてさいている。
岡村夏芽

段級
氏名
作業をしていた牧場のおば
さんが手を止めて、春花に話しか
けた。「この子、生まれたばかり
なの。名前、なんていうんです
か。思わず、春花はきいた。
宮原奈緒

段級
氏名
僕は、シンタと話すときに迷うよう
になった。休み時間も放課後も相変
わらずシンタといっしょにいたけ
ど、前みたいに話せなくなった。僕は
あたりまえのことばかりを話した。
金石みのり

段級
氏名
「わたしたちも、
ゆれて おどりた
い。おどれば、雪
に 日があたる。」
まつはらせな

段級
氏名
クローバーが青々と広がり、
わた毛と黄色の花の交ざ
ったたんぽぽが点々のも
ようになつてさいている。
廣瀬文音

段級
氏名
ぼくはすつと目をふせた。アスファ
ルトの水たまりに西日の反射がき
らきら光る。そのまぶしさに背中を
おされるように、今だ、と思った。今、
言わなきゃ、きつと二度と言えない。
野本凜

段級
氏名
先日、温泉旅行へ行ってきた。ベントも
一緒に泊まれの宿だった。我が家の犬たち
とのんびり、ときどき、お散歩はいつも違
う。雲間、風に吹かれて、お散歩はいつも
美味い。食事とたぐやんのおもちで遊
べたのは、楽しかった。おもちを
少し、おもちのお土産と、おもちを
送ります。お口に合うかわかりませんが、どうぞ
お召し上がりください。
實政 奈々

段級
氏名
野ねずみたちは、目を
開けたりとじたりした
からどくべつメニューの
雨の音につつまれた。
ごとうさくら

段級
氏名
作業をしていた牧場のおば
さんが手を止めて春花に話しか
けた。「この子、生まれたばかり
なの。名前、なんていうんです
か。思わず、春花はきいた。
長谷部沙来

段級
氏名
僕は、シンタと話すときに迷うよう
になった。休み時間も放課後も相変
わらずシンタといっしょにいたけ
ど、前みたいに話せなくなった。僕は
あたりまえのことばかりを話した。
栗原煌央

段級
氏名
意外なようでお似合いなのは、麦
畑の穂と一面の菜の花が、かつてはど
こにでもあつた。農村の風景だったから
だろう。買い求めて花瓶に挿すと、春
がそこに座つていようように見えた。
横地 文華

山田 千鈴 7級
マスいっぱい、げんきよく、とてもじょうずにかけましたね。いっしょけんめいにれんしゅうのできたさくひんです。
まつばらせな 5級
むずかしいペンをつかって、一字一字しっかりと、とてもきれいに書いています。名前もよく練習ができていて、立派です。
後藤さくら 2級
三年生になるとマスがなくなるのでとてもむずかしいのですが、伸びやかに、バランスよく書いています。今後に期待大!

岡村 夏芽 1級
ペンをじょうずに使つて、むずかしい漢字もきれいに書いています。今後は、行の中心に気をつけて、段々を目指して下さいね。
廣瀬 文音 1級
書き始めから名前まで、お手本をよく見て丁寧な書き方に、形よく書いています。難しい名前もしっかりと練習のできた作品です。
長谷部沙来 3級
新五年生になると行が増え難くなりですが、集中力を切らさず、書き始めから名前まで見事です。今後がとて楽しみます。

宮原 奈緒 5級
一字一字お手本をよく見て、難しいペンでしっかりと書いています。今後はペンを少し軽く握ると、更によく書けるとおもいます。
野本 凜 5級
ペンを上手に使い、お手本をよく見て一字一字丁寧に形よく書いています。今後は行の中心に気をつけて更なる頑張ってください。
栗原 煌央 5級
お手本の細部までよく観察し、書き始めから名前までとても上手に書いています。頂上まであと一歩です。頑張ってください!

金石みのり 6級
伸びやかな線、漢字と平仮名のバランスも良く、明るく書いています。特待生を目指して頑張ってください。期待しています。
實政 奈々 師範
人柄を思わせる優しい筆致で、心地良い音楽が聴こえてくる様な自然な流れがとて美しい。心の安定を感じます。白眉な作品です。
横地 文華 師範
お手本をよく観察され、漢字と平仮名のバランスが良く、明るい作品です。今後は自己のリズムを加味した作品に期待します。